



## 職業奉仕について

職業奉仕委員会担当

## 「老舗企業の経営に学ぶ職業奉仕の極意とは」

## 卓話「老舗企業の経営に学ぶ職業奉仕の極意とは」

税理士法人りったくす代表社員 久乗 哲氏



100年を超えているような老舗の企業は京都に多いと言われますが、日本全国で一番老舗の多い都道府県は東京になります。京都の特徴は、老舗の発生率が一番高い点です。京都以外には

新潟や鳥取にも老舗が多くあります。京都は町が狭く、噂がすぐに広まってしまうため、まじめに商売を行うという地域性がありました。また、老舗の目指す品質は機械で作れないため、あまり大きな規模の商売は行わず、適正な規模を守って商売をされています。

「老舗の商品とお客様の要望」ということで、様々な老舗に質問をして分類を行いました。その内の1つ目として「老舗は頑固か」というお話です。テレビドラマや映画で描かれる架空の老舗は、伝統や歴史だけで商売しているように表現されることが多く、頑固なイメージがあるかと思います。私達もこの調査研究を始める前は、同じ様なイメージを持っていましたが、実際に老舗の方にお会いした際には「当たり前な事を当たり前に行い、お客さんを裏切ってはいけない」というお話を聞くことができました。

京都の手作り茶筒の老舗の開化堂の当代は「職人がいくら考えてもだめなんです。お客さんの欲しいものを作らんとあかんです」とおっしゃいました。経営的な表現をすると、これはマーケットインの話になります。お話を聞いた全ての老舗は、お客さんの要望に応え、お客さんの要求する商品を提供されていました。

2つ目に「万古不易」「一時流行」です。京都で黒七味を作られている原了郭の原悟さんは、劇業である七味を調合するため、手がボロボロになっています。調合のための部屋には、先代と当代と後継者しか入れないそうです。原悟さんは「流行や歴史の流れの中で、老舗であっても変えなければならないものと、変えてはいけないものがある」とおっしゃいました。また、昆布のお菓子を作られている松前屋の当代は「商売というものはお客様によって成り立っているものですから自分勝手な仕事をしたらだめなんです」とおっしゃいました。ここで出てくるキーワードとして「万古不易」「一時流行」があります。「万古不易」は永遠に変わらないもの。「一時流行」はその時々に変化するものという意味があります。老舗でいう永遠に変わらないものは「家訓」で、そ

の時々に変化するものは、「お客さんのニーズ」になります。老舗は同じことをやっているように見えますが、変えてはいけない家訓を守りながら、お客さんのニーズに応えることを延々と繰り返しています。それが老舗の証拠になります。

老舗の商品は希少であったり、高品質であったり、特徴があるものですが、そういったものは高いというイメージがあると思います。老舗は特別な商品を常に提供しつつも、むやみに利益獲得を目指すのではなく、常にお客さんが納得できる価格で商品販売を心掛けています。先ほど紹介した昆布のお菓子を作られている松前屋の当代は「この品質でこの値段ということが大切なんです。価値のあるものを提供するけれど、その価値を超える過大な儲けには興味がない」とおっしゃいました。また、創業200年を超える老舗和菓子店の亀末廣の当代は「古くからやっている店には品質だけでなく、商品の値段にも責任があるので簡単に値上げすることはできない」とおっしゃっています。例えば原料が値上げされたとしても、老舗が値上げをしてしまうと、他の店も値上げを始めてしまい、お客さんのためにはなりません。

本日は老舗の方のお話をいくつか紹介させていただきましたが、本日のお話を職業奉仕と結びつけると、中小企業は何か社会に責任を果たさなければいけないということを考えるのではなく、きちんとした嘘のない商品や、正直な商売を世に提供し続けるということだけでも中小企業の責任を果たしていることになるのではないかと思います。そういう意味でいうと、職業を通じて社会に奉仕すれば、社会はそれを受け入れてその企業の商品やサービスを支持して、企業が長きに亘り商いを続けられるのではないかと思います。

## 主旨説明・卓話者紹介

中根 研一 職業奉仕委員長



本日は、地域に根ざし、職業を通じて社会に奉仕してきた中小企業が繁栄するための極意や、老舗企業に伝わる教え、経営理念をテーマとした卓話をお聞きいただきたいと思います。中小企業CSR研究会のメンバーでもある久乗様が、自らの足で集めた老舗のヒヤリングデータを基に、老舗がどの様にしてお客様との信頼関係を築き、維持してきたかについて聞くことで、職業奉仕の本質を学ぶ機会にしていただけだと思います。

## 次年度委員長発表

井川 和英 会長エレクト

次年度の委員長の発表をさせていただきます。

幹事	山本 貴浩 会員	クラブ戦略	池田 至 会員
会計	河村 修 会員	S.A.A.	富田 佳央 会員
ニコニコ	長屋 麻衣子 会員	クラブ運営	河合 珠美 会員
会長/ミニ	近藤 真 会員	会員選考/職業分類	宮田 正人 会員
会員増強	伊藤 健一 会員		
ロータリー情報/ラーニング・ファシリテーター			三浦 裕司 会員
副会長/クラブ奉仕	江崎 雅彰 会員	出席	小林 敏博 会員
クラブ会報	竹内 裕二 会員	親睦活動	荒島 一実 会員
雑誌	長濱 貴彦 会員	公共イメージ向上	中村 典司 会員
副幹事/プログラム	岩瀬 清 会員	職業奉仕	豊田 正博 会員
社会奉仕	野寄 誠三 会員	国際奉仕	植村 忠慶 会員
青少年奉仕	疋田 涼 会員	インターアクト	笠原 元樹 会員
ローターアクト	伊藤 恭三 会員	直前会長/ロータリー財団	紅林 友昭 会員
米山奨学	岡田 直樹 会員	創立75周年記念実行	佐々木 利政 会員

会長は私、井川和英が務めさせていただきます。皆さまのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

## 「ロータリーの友」読みどころ紹介 中村 典司 雑誌委員長

縦組15頁には村井PGの「ロータリーソング「我等の生業」が好き」という記事が掲載されています。我等の生業はとても良い歌詞だと思います。皆さまの職業は様々ですが、この会場へ来ることで一つになり、色々な話をすることができる例会は本当に素晴らしいと思います。

## 委員会報告

小林 大悟 会員増強委員長

皆さまは、毎日仕事に没頭されており、心休まる時間も少ないかと思いますが、例会に来れば競争や確執はなく、温かい友情があるのみです。豊橋RCの新しい仲間を増やすために、皆さまには新会員候補に関する情報提供にご協力いただきたいと思います。

## 会長挨拶

紅林 友昭 会長

ロータリーに「奉仕」の概念を持ち込んだと言われるシカゴRCのアーサー・フレデリック・シェルドンは、入会してすぐに活躍していきますが、多数派である「内部親睦派」と、ポールハリスを頂点とする「外部行動派」との確執をエスカレートさせてしまいます。ロータリーがクラブ数や会員数を増やす一方で、様々な派閥の対立が鮮明となり、ロータリーは分裂の危機に直面します。この対立は究極的には、シェルドンが主導する商業サービスとポールハリスが支持する人道的支援との対立でした。その後、混乱のセントルイス大会では有名な「決議23-34」が両者を上手く折り合わせました。しかし、折り合ったはずの2派ですが、シェルドンの「商業サービス」は徐々に表舞台から消え、1930年にシェルドンはロータリーを去ります。初期のロータリーが奉仕という概念を持つようになるキーマンとも言うべき存在であったにもかかわらず、論争に巻き込まれ、その論争に負け、実に不運なロータリーライフだったように思いますが、彼が提唱した「he profits most who serves best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」はロータリーの第二標語となって今なお生き続けています。

## 会長報告

ございません。

## 幹事報告

山本 貴浩 副幹事

1. 例会後に職場見学会が予定されています。ご参加される方は速やかにバスにご乗車ください。

## ニコニコBOX

三木 隆治 ニコニコ委員

- 税理士法人りたっくす、久乗哲様ようこそ、豊橋RCへ。卓話を楽しみにしています  
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事
- 本日例会を担当させていただきます  
中根 研一 職業奉仕委員長
- 久乗哲様、京都よりお越し頂きありがとうございます。  
卓話 楽しみにしております  
中村 典司 会員
- 次年度委員長を発表させていただきました  
井川 和英 会長エレクト
- 次年度を、宜しくお願ひいたします  
2025-26年度理事・委員長一同
- 会員増強委員会の報告をさせていただきました。  
新会員候補者に関する情報提供をお願い致します  
小林 大悟 会員増強委員長
- ロータリーの友の読みどころを紹介させていただきました  
中村 典司 雑誌委員長
- ロータリーの友1月号に私の拙文が掲載されました  
村井 総一郎 PG
- 新春初例会で、締め挨拶をさせていただきました  
宮田 正人 会員
- 今年初めて、ニコニコを発表致しました  
三木 隆治 会員 (順不同)

## 例会後の職場見学会

中央製乳株式会社



## 歌

ソングリーダー 佐藤 裕彦 会員

「富士山」

## 本日のゲスト

税理士法人りたっくす 代表社員 久乗 哲 氏

## 出席報告

神谷 君和 出席委員

当日出席者	70名	計算会員数	94名中24名欠席
総会員数	110名	出席率	74.47%

## 例会予定

### 次回のプログラム

1月23日(木) クラブ・フォーラム「職業奉仕」(夜間)

- 1月30日(木) 年男放談①
- 2月6日(木) 年男放談②
- 2月13日(木) インターアクト卒業生を送る会

写真の閲覧はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

